



本日は 第2972回 例会
プログラム
米山奨学生になって
No.2791 3月31日(木)

次週以降の予定
4月9日(土)第2グループIM
4月14日(木)次年度会長方針
4月21日(木)ゲスト卓話

第2971回 例会報告

2016年 3月24日(木)

会長挨拶・報告



先週は彼岸の入りでしたが昨日が彼岸明けで、3月22日は「世界水の日」ですが、ロータリー財団よりメールが届きましたのでご紹介します。その前に3月22日が何故「世界水の日」なのか調べましたら、1992年(平成4年)、国連総会で制定された国際デーの一つで地球的な視点から水の大切さを世界中の人々が見つめ直す日と言うことでした。世界では7億4800万人が安全な水を利用できない環境で生活していて、汚染水が原因で命を落とす子どもが毎日3,000人以上いると言われています。ロータリーでは、きれいな水と適切な衛生設備の提供を通じて、より健康な地域社会を目指す多くの活動が実施されています。例えばガーナでは、ロータリーの補助金を活用し、会員が複数の村に20以上の井戸を設置したほか、30の井戸を修復しました。さらに、治療しなければ障害や死にいたる伝染病、ブルーリ潰瘍に関する教育と治療も行っています。この活動で、7万人近い人々が恩恵を受けています。発展途上国では、汚染水により命を落とす子どもが後を絶ちません。きれいな水は人間が健康に暮らすための第一条件。毎年250万人の命を救うため、ロータリーはきれいな水の提供に力を注いでいます。只今「世界水の日」にちなんだ特別寄付を用意募っております。ホームページの「特定の活動分野を支援する」の項目から「きれいな水の提供」をお選びいただき、寄付の画面に移動後、「年次基金・水と衛生」をお選びください。皆様からのご支援はすべて変化をもたらすための重要な取り組みのために活用されます。何卒ご支援をお願い申し上げます。

ロータリー財団ゼネラルマネージャー ジョン T. オスターランドさんからメールを貰いましたのでご紹介させて頂きました。

また、本日のゲストであります担保様には後ほど日頃耳慣れないスポーツ弓術についてお話をお聞きしますのでどうぞ宜しくお願いいたします。以上で会長挨拶を終わります。

幹事報告



①。「風がみつけた街」コンサートチケット販売の依頼がまいりました。各テーブルに廻しますので、ご購入の方は、氏名と金額をご記入願います。パンフレットもお取りください。

②。4月7日(木)例会は振替休会ですが、第16回定例理事会は午後6時30分より、当ホテル・フレスコにて開催いたします。役員・理事の方は予定に入れてください。

先週のプログラム

◇ロータリー情報委員会担当例会◇

ーゲスト卓話ー



ロータリー情報委員会 柳 清二 委員長
ゲストのプロフィールを紹介します。
丹保直喜様(弓道五段)
昭和20年 後志管内の喜茂別町生まれ
70歳

昭和43年 立命館大学文学部 英米文学科卒業。
英語の教員になる。上川管内の愛別高校に赴任。
昭和51年 留辺蘂高校に転勤し、「弓道部」の顧問となり、自分も弓道を始め。
昭和58年 滝川高校に転勤し、その年の内に「弓道同好会」を設立。翌年から部活になり23年間弓道部の顧問を担当。生徒はその間に全国大会、全国選抜大会に3度出場する。
平成13年~15年 北海道高等学校体育連盟弓道専門部部長
現在は、滝川弓道連盟会長、北海道弓道連盟中部地区副会長
大会では、平成18年全国教職員弓道大会団体の部優勝。平成20年ねんりんピック鹿児島大会で団体の部全国優勝。
家族は、娘が2人。孫が3人。
健康の為に現在、弓道練習の他に「ミニトマト栽培」のお手伝いに通っています。

「日本の伝統武芸弓術」



滝川弓道連盟会長 丹保 直喜 様
Q & A形式で紹介致します。

Q：私にも弓道はできますか？

A：誰にでもできます。自分の体力(筋力)に合わせて~弓の強さ~選べます。何才からでも可能です~経験者が指導します。弓具は連盟の備品使用。

Q：弓道を行うのに必要なものは？

A：弓具として~弓(2.21m-7尺3寸) / かけ/ 矢(自己の身長約2分の1 + 10cm) / 弦/ 的(直径36cm-1尺2寸)

Q：やり方は？

A：28m先の的を狙い~射法八節に則り行射する。
~聞き慣れない語~沢山あり
(射法八節とは弓道を行う手順の事) ①足踏み ②胴作り ③弓構え ④打越し ⑤引き分け ⑥会 ⑦離れ ⑧残身(心) (弓道の専門用語)

Q：競技方法は？

A：選手～1回に4本の矢を射る～中たり／はずれを判定
一般的な大会では4本の矢を2回→計8本の矢の中たり合計が多ければ勝ち
同中の場合～遠近競射→的の中心に近い矢が上位

Q：弓道の長所はどのようなもの？

A：スポーツとして体力の増進が図れる。／呼吸（息づかい）に合わせて動作を行うので内蔵に良いと言われていて／何歳からでも始められる／自分の生活のリズムに合わせて練習ができる（初心の内は指導者がつきます）
弓道（武道）は「礼に始まり礼に終わる」といわれるように自己の精神修養の一助となります。

Q：練習はどのように行われる？

A：弓道は①射法・射技／②体配／の2つの調和が大切です。
①射法～足踏み／胴作り／弓構え／打越し／引き分け／会／離れ／残身（心）
初心者は「ゴム弓」という弓具で上記の練習を繰り返します。その後「弓」を持って練習します。
②体配～「基本の姿勢」「基本の動作」（射法と並行して練習します）
「基本の姿勢」とは①立った姿勢／②腰かけた姿勢／③すわった姿勢／④爪立って腰をおろした姿勢の4つ。
「基本の動作」とは①立ち方／②すわり方③歩き方④停止体の回り方／⑤歩行中の回り方／⑥坐しての回り方／⑦礼／⑧揖

Q：アーチェリー（洋弓）との違いは？

A：洋弓は①短弓（1.21m～1.51-4～5尺）／②握り（弓を握る場所）が弓の中央／持ち運びに都合良い／縦にも横にも構えられる／引き分け（右拳）は口の辺り。
和弓は①長弓（2.21-7尺3寸）／②握りは中央から下（上からおよそ3分の2の辺り）／引き分け（右拳）は耳の辺り。

Q：弓道の目標はどこにありますか？

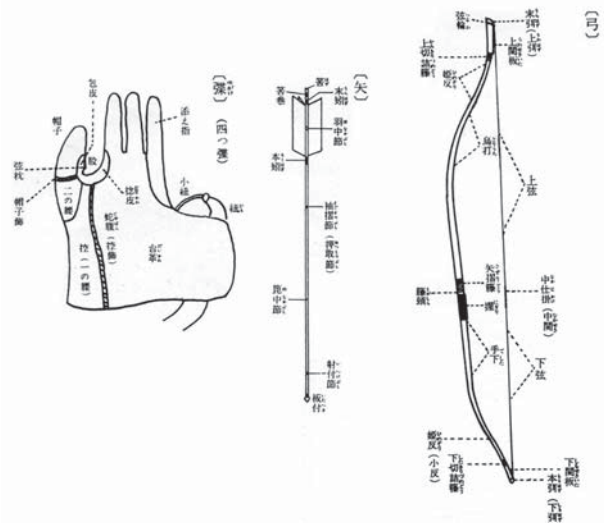
A：弓道の要諦～「至誠」と「礼節」～人に勝つことよりも「誠」を尽くすことがより大切～修練の際→心に銘記し、正しい信念と勇気をもつことが肝要。体育や健康のためばかりでなく、人生をより高く豊かにするものでなければならぬ→昔から「射即生活」「射即人生」と言われてきた。

Q：滝川弓道連盟の歴史は？

A：昭和5年（1930年）に発足～会員は主として鉄道員～昭和15年（1940年）には滝川高女にも弓道部が創設されたが、戦時とあって総べて消滅～昭和22年（1947年）に再建、戦後の混乱と特定の射場に恵まれず自然消滅～昭和39年（1964年）「滝川弓道会」として再出発～市営弓道場の建設～最重点課題～吉岡市長に陳情を繰り返す～吉岡市長「施設の無いところにもものは育たない」～遂に1億3千万円を投じて建設成る～昭和51年（1976年）のこと～爾来嘗々と歴史を重ね現在に至る～

現会員数37名。

*主な活動内容～月例会／初心者弓道教室／滝川神社祭典奉納射会／中部地区（天塩町から由仁町までの範囲）各種大会参加／階級審査受審／新春滝川市長杯弓道大会



ニコニコBOX

神部 洋史会員

大腸から出血して血液を半分なくしましたが、命は取り止めました、連休は入院していました。神様に感謝します。

鈴木 忠男会員

結婚記念日にお祝いを頂き。

松橋 和博会員

結婚記念日にお祝いを頂き。

三品 優次会員

結婚記念日にお祝いを頂き。

前野 史賀会員

結婚記念日にお祝いを頂き。

西井 勝明会員

お世話になっている会長のお話し、久しぶりにお聞きして。

柳 清二会員

情報委員会担当例会を終えて。

佐藤 邦弘会員送別会友志一同

木曜フォーラム後の二次会にて集まりました。

会長／宮崎 英彰
幹事／渡辺 浩司
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。